

2009年度

科目名	薬学法規演習A				
担当教員	広川 美視、翁 健				
配当	薬科4			コード	12780
開期	後期	講時	月曜日2限	単位数	1
授業テーマ	【必修】 薬事関係法規・制度の理解度を高める。				
目的と概要	社会における薬剤師の責任と義務を果たすためには、薬学を取り巻く法律、制度および経済を知る必要がある。薬学法規演習では、薬学に関わる法律・制度、また社会保障制度と薬学経済に関して学んできたことを復習するとともに演習問題形式による反復学習を通じて、その理解を深め薬剤師に必要な責任と義務を修得することを目的とする。				
成績評価法	試験及び平常点の結果から総合的に評価する。				
テキスト	配布資料および指定した教材				
参考書	日本薬学会編スタンダード薬学シリーズ1「ヒューマニズム・薬学入門」/市川厚他著 日本薬学会編スタンダード薬学シリーズ6「薬物治療(2)および薬物治療に役立つ情報」/青木正忠他著 日本薬学会編スタンダード薬学シリーズ9「薬学と社会」/赤池昭紀他著 日本薬学会編スタンダード薬学シリーズ10「実務実習事前学習一病院・薬局実習に行く前に」 薬事関係法規 改訂第2版/三輪亮寿他著/南江堂 よくわかる改正薬事法/薬事日報社/2007年				
履修に 当たっての 注意・助言	補助教員: 谿忠人、西山省二、廣谷芳彦、名徳倫明、小西廣己、小川雅史、上島秀樹、初田泰敏				
講義計画					
回数	授業形態	授業内容	到達目標(SBO)	コア対応番号	学習領域
1	演習と講義	薬学概論	1. 医療と薬学の歴史を概説できる	B1	知識
			2. 薬と食品の区別を説明できる	B1	知識
			3. 予防(セルフメディケーション)と治療における薬剤師の関与を説明できる	B1	知識
2	演習と講義	改正薬事法 その1	治験および市販後調査に関連する薬事法改正のポイントを説明できる。	C17	知識
3	演習と講義	改正薬事法 その2	PL法に関連する薬事法改正のポイントを説明できる。	C18	知識
4	演習と講義	改正薬事法 その3	医療機器、診断用医薬品および生物由来医薬品に関連する薬事法改正のポイントを説明できる。	C18	知識
5	演習と講義	法律と制度	1. 薬剤師に関連する法令の構成を説明でき、その中での薬事法、薬剤師法、医療法の内容を説明できる。	C18(1)	知識
			2. 被害救済の制度と内容を概説できる。	C18(1)	知識
			3. 製造物責任法を概説できる。	C18(1)	知識
6	演習と講義	管理薬	1. 麻薬及び向精神薬取締法、覚せい剤取締法を概説し、規制される医薬品を列挙できる。	C18(1)	知識
			2. 大麻取締法、あへん法を概説できる。	C18(1)	知識
			3. 毒物及び劇物取締法、を概説できる。	C18(1)	知識
7	演習と講義	社会保障制度	社会保障制度全体の仕組みと、その中での医療保険制度の役割、介護保険制度、高齢者医療保険制度の仕組みを説明できる。	C18(2)	知識
8	演習と講義	医療保険	医療保険の成り立ち、現状、仕組み、種類等と、国民の福祉健康における貢献と問題点を説明できる。	C18(2)	知識
9	演習と講義	薬剤師業務の基礎 1	1. 薬剤師業務全般、チーム医療及び医薬分業について説明できる。	DI(1)	知識
			2. 処方せんと調剤の基本事項について説明できる。	DI(2)	知識
			3. 疑義照会の意義とその方法について説明できる。	DI(3)	知識
			4. 安全管理と代表的な副作用について説明できる。	DI(5)	知識
10	演習と講義	薬剤師業務の基礎 2	1. 医薬品の安定性について説明できる。	DI(4)	知識
			2. 院内及び薬局製剤として消毒薬について説明できる。	DI(4)	知識
			3. 代表的な医薬品の服薬指導について説明できる。	DI(6)	知識

11	演習と講義	医薬品情報の基礎1	1. 医薬品情報源の一次資料、二次資料、三次資料について説明できる。	C15(1)	知識
			2. 厚生労働省、製薬企業などの発行する資料を列挙し、それらの特徴を説明できる。	C15(1)	知識
			3. 医薬品情報源としての代表的な二次資料、三次資料を列挙し、それらの特徴を説明できる。	C15(1)	知識
12	演習と講義	医薬品情報の基礎2	1. 医療用および一般用医薬品添付文書の法的位置づけと用途を説明できる。	C15(1)	知識
			2. 医療用および一般用医薬品添付文書に記載される項目を列挙し、その必要性を説明できる。	C15(1)	知識
			3. 医薬品インタビューフォームの位置づけと用途を説明できる。	C15(1)	知識
13	演習と講義	薬剤師業務の基礎3	1. 薬物治療の経済評価を説明できる。	C18(2)	知識
			2. コミュニティファーマシーの役割と業務を説明できる。	C18(3)	知識
14	演習と講義	医薬品情報の応用	1. 医薬品情報を正しく評価できる。	C15(2)	知識・態度
			2. 得られた医薬品情報を活用できる。	C15(2)	知識・態度
15	演習と講義	患者情報の基礎	1. 患者情報の取扱いにおいて守秘義務を遵守し、管理の重要性を説明できる。	C15(2)	知識・態度
			2. 患者から情報を適切に収集し、活用することができる。	C15(2)	知識・態度
授業方法					
一般目標	学習方法	場所	教員数 (補助者数)	教科書以外の教材など	時間(分)
B1, C15, C17, C18, DI	演習と講義	講義室	2(8)	配布資料、問題集、パワーポイント	90x15